

会 議 録

会 議 録	山陽小野田市公民館運営審議会（第2回）
開催日時	平成31年3月22日（金） 10時～11時30分
開催場所	山陽小野田市不二輸送機ホール（文化会館）研修室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・運営審議会委員14名 （岡本会長 千々松副会長 丸田委員 大本委員 平野委員 坂本委員 長谷川委員 高橋委員 平中委員 大森委員 林委員 柴田委員 川空委員 森本委員） ・事務局19名 （三輪学校教育課長 真鍋学校教育主幹 松浦地域連携教育アドバイザー 河上中央公民館長 池田社会教育課長補佐 西村社会教育主査 江内社会教育主事 中村社会教育係長 中野社会教育主任 柿並中央公民館主任 高畑本山公民館長 中野赤崎公民館館長 藤村須恵公民館長 姫井高泊公民館長 谷岡高千帆公民館長 江中厚狭公民館長 能勢出合公民館長 阿武厚陽公民館長 増本厚陽公民館主事）
欠席者	1名（長谷委員）
担当課	中央公民館
会議次第及び結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会教育課長あいさつ 2 会長あいさつ 3 報告事項 （1）人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について （平成30年12月21日中教審答申） （2）平成31年度社会教育推進の指針について （3）平成31年度公民館予算について 4 議題 （1）平成31年度公民館事業実施計画（案）について
会議結果	<p>○報告事項</p> <p>（1）人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について 中央公民館長から、平成30年12月21日に中央教育審議会からの答申について概要版の資料を基に説明。社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりを行う具体的な方策として、①学びへの参加のきっかけづくりの推進、②多様な主体との連携・協働の推進、③多様な人材の幅広い活躍の促進、④多様な資金調達手法の活用、等を今後行うこと。また、公民館においては、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割を行う旨を説明した。</p> <p>（2）平成31年度社会教育推進の指針について 来年度の指針について、中央公民館長より説明。平成30年度と大きく変更させてないため変更点のみ説明。重点目標「地域力・学校力・家庭力向上プロジェクト！」において、公民館長を第2コーディネーターとすることを新たに指針に明記。また、分野別努力事項の公民館部分において、公民館職員の資質向上に努める、を新たに追加。公民館職員が県の研修等に積極的に参加し、資質向上に努め地域づくりにつなげていく旨を説明した。</p>

(3) 平成31年度公民館予算について

来年度の公民館予算について、中央公民館主任より説明。光熱水費・人件費の高騰、また10月の消費税増税分を見込み、全体として予算が増加した旨を説明。来年度、引き続き市民館耐震改修工事を行うことに伴い、小野田公民館については、講師謝礼、消耗品費等予算減。埴生地区複合施設については、家屋調査や工事請負費、備品購入を見込んでいるため、予算が倍増する見込みである。

委員からは、公民館清掃委託料の内容確認があった。

○議題

(1) 平成31年度公民館事業実施計画(案)について

中央公民館から、来年度以降取り組むべき主催講座について説明を行った後、各公民館長から地域の課題解決に向けた取組や、人づくり・地域づくり・学校づくりに向けた取組について報告し、承認された。

○その他

委員から、4点質疑があった。

1 毎年減少する学校支援の予算について、なぜ減少しているのか。

→この予算については、国・県・市がそれぞれ3分の1の額を補助し、その予算において事業を行っている。31年度予算については、県が補助金を減額したことに伴い、市も県に準じて減額をせざるを得なかった旨を説明。今後県に対して、減額をしないように要望していく。

2 学校から地域へ購入依頼のあった校旗購入について資金を市で検討できないか。

→現在の校旗について、どのように購入しているか教育委員会内で確認し、委員に報告する。

3 公民館施設の修繕について、雨漏り等の修繕をこの場でお願いしても良いものなのか。

→公民館長経由で要望いただき、緊急性の高いものから順次対応していく。

4 今後増加していく外国人への対応について、英語・中国語・韓国語の看板を設置する必要があるのではないか。

→市全体としての対応が必要。担当部局に連絡し、市全体として検討してもらうよう要望する。